

着地型観光の実態調査結果

報告

平成 26 年 3 月

御所市 奈良県立大学

目次

1. 調査の概要	1
1-1 調査の目的	1
1-2 調査方法	1
1-3 調査項目	3
2. 調査結果	3
2-1 行政・外郭団体等調査結果	3
質問 1 地旅として取り組んでいる分野	3
質問 2 成功していると思う地旅、その成功の要因	5
質問 3 地旅の展開における課題	9
2-2 民間事業者への調査結果	13
質問 1 地旅について具体的に展開している内容	13
質問 2 他の企業や行政・観光関連施設とタイアップ	14
質問 3 地旅を積極的に展開していく予定	14

1. 調査の概要

1-1 調査の目的

全国から着地型観光に携わる専門家が終結した地旅博覧会において、御所市における今後の着地型観光を進める上で参考となる着地型観光の現状についてヒアリング調査を行う。
(地旅とは、着地型観光でも厳選されたものを指す。)

1-2 調査方法

第12回国内観光活性化フォーラム・地旅博覧会 in 和歌山に参加した全国の約120の団体のうち、物販を除き調査にご協力していただいた39団体（行政・外郭団体関連35件、民間4団体）を対象に、奈良県立大学地域創造学科小松原ゼミの学生12名が、2人1組になり、ヒアリング調査を行った。

(御所市と奈良県立大学は包括連携協定の関係にあることから協働での調査を行った。)

■日時・会場

平成26年2月11日（火・祝） 和歌山市ビックホエール

■ご協力いただいた団体

【和歌山県外】

堺観光コンベンション協会、北海道旅行業協同組合、新潟県、伊勢志摩、静岡県、長浜市、熊本県、姫路市、島根県、淡路島、岡山県、京都府、鹿児島県、ウズベキスタン共和国

【和歌山県下】

和歌山市観光協会、和歌山市、新宮市、串本町、白浜町、太地町、エルトゥールル、那智勝浦町、有田川町、広川町、田辺市、美浜町、日高町、日高川町、由良町、海南市、紀ノ川市、橋本市、九度山町、紀美野町、高野町、かつらぎ町（かつらぎフルーツ王国振興公社）

【民間】

日本旅行、フェリーさんふらわあ、関西国際空港、JR西日本



■地旅とは、(地旅ホームページより)

一般社団法人全国旅行業協会会員厳選の
貴重な体験ができる地域密着着地型旅行商品「地旅」

地旅とは、「地域」を誇りに感じている人たちが、そこを楽しみに来てくれる人たちのために、企画しておもてなしする旅のことで、(一社) 全国旅行業協会が事務委託した「(株) 全旅」が、地旅認定要件を満たす「着地型旅行」の中から、取扱旅行業者の申請に応じて認定した企画旅行です。

地元根付いた旅行会社だから実現できる、貴重な体験ができる地域密着の地旅を楽しんでみませんか。

旅行が好きで数多く旅行をされている方にも、なかなか旅行に行くことができない方にも、全国各地多種多様なツアーが満載ですので満足していただけること間違いなし！

地元の人と交流したり、ガイドブックには決して載ることのない、地元の人でもあまり知らないとっておきの隠れスポットや、知る人ぞ知るグルメスポットなど、あなたの旅行に今までにない感動を与えてくれます。

さっそく地旅を検索してみましょう！気になる地旅があったらお気軽にお問い合わせください。

■地旅認定要件

- 「テーマや目的」が明確に示されている旅行
- 自然景観、生活文化、歴史遺産など、地域資源の保全に取り組んだ旅行
- 地元の人たち、地域の各種団体（自治体・観光協会・NPO など）と協力して企画・造成されている旅行
- 地域の食材や伝統工芸品など、地域の物産を生かした広く地域振興に貢献できる旅行
- 地域と密接に関係したテーマ（地元の人たちとの交流や体験機会）が設定され、当該地域ならではの生活文化や産業などの魅力を楽しく伝えるための観光素材（地域案内人の確保など）が含まれている旅行
- 安全の確保ができる旅行商品であること

1-3 調査項目

■行政・外郭団体等への調査項目

質問 1：地旅として取り組んでいる分野をすべて教えてください。

質問 2：成功していると思う地旅を 3 つまで教えてください。また成功の要因と思うことを教えてください

質問 3：地旅の展開において課題になっていることは何ですか。（いくつでも可）

■民間事業者への調査項目

質問 1：地旅について具体的に展開している内容を教えてください。（いくつでも可）

質問 2：地旅に関するサービスを提供している（今後していく）中で、他の企業や行政・観光関連施設とのタイアップをしていますか（予定していますか）。

質問 3：今後、地旅は、積極的に展開していく予定ですか。（その理由も教えてください）

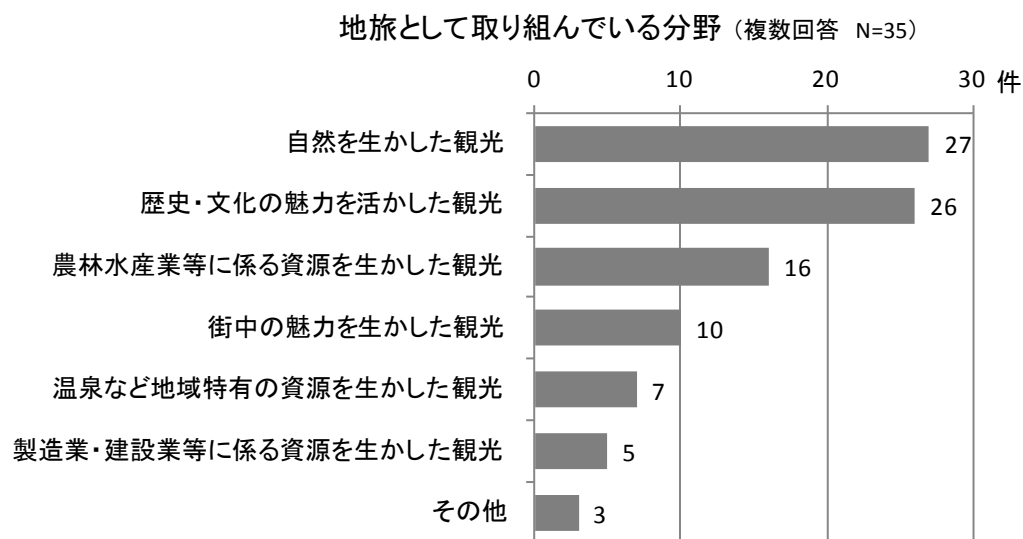
2. 調査結果

2-1 行政・外郭団体等調査結果

質問 1 地旅として取り組んでいる分野

自然を活かした観光、ついで歴史文化の魅力を活かした環境が多く、約 7 割が実施している。製造業・建設業等に係る産業資源を活かした観光も 5 件見られる。

その他、ガイド等の人材の育成を上げる所も 2 件見られる。



【各回答に関する補足】

■自然を活かした観光の補足

- ・自然は、阿蘇のカルデラ、天草のいるか。歴史・文化は、熊本城や水路橋。
- ・自然を生かした観光＝後樂園
- ・富士山の恩恵を受けていることを意識した観光対象が多い。

■歴史・文化の魅力を活かした観光

- ・シルクロードの中心地（砂漠を抜けた後のオアシスにあたる）ため、世界遺産が多い。有名なものはブルーモスク。フルーツがとてもおいしい。ワインの生産も盛んである。
- ・京都は全部の分野、バランスよく取り組んでいる。神社・仏閣はもちろん、京料理も有名。
- ・江戸時代から残っている黒江のまちなみで海南の伝統の体験を行っている。
- ・黒田官兵衛や姫路城を利用してイベントなどを行っている。
- ・式年遷宮で出雲大社は特に人気があった。ジオパークや石見神楽も有名である。
- ・桃太郎伝説のもととなった神社も有名。

■農林水産業に係る資源を活かした観光

- ・今の時期は水仙がきれいに咲いている。食べ物は夏はハモ、冬はフグが有名。「淡路島ヌードル」や「淡路島バーガー」など淡路島ブランドの食品を開発。また、淡路牛を気軽に食べてもらえるよう牛丼として提供。
- ・梅もぎ、みかん狩り体験
- ・九度山町は富有柿が有名であり、九度山ブランドは日本一である。また、真田幸村と歴史文化を融合させた観光も進めている。古い民家・古い路地と真田幸村の融合も行っている。
- ・丹生都比売神社や串柿の里など。かつらぎ町は柿の生産日本一。農作物も1年中とれる。
- ・地元でとれた食材を用いた手作りのマーマレードや柚子ポン酢など。いろんなものを観光につなげている。

■地域特有の資源を活かした観光

- ・温泉を町で運営している。
- ・温泉を利用している。

■人材を活かした観光

- ・自分の住んでいる街がどれだけ素晴らしいか理解することから、それぞれの個性を尊重するインターナショナルを生み出す。
- ・人。どのような観光資源があっても、優れた人がいないと客は来ない。人材育成に力をいれている。観光ガイドボランティアを30年前から続けている。

質問2 成功していると思う地旅、その成功の要因

成功しているともう地旅については、回答者自らのまちで成功していると思う地旅と、他の地域で成功していると思う地旅の双方の回答が見られた。これらのカテゴリーを整理すると、成功とした評価の切り口が「工夫の仕方」であるものと「地域資源の活かし方」の2つに分けられ、それぞれに多様な成功の要因を上げている。（詳細は次頁以降参照）

評価の切り口	成功の要因
工夫の仕方	多様なメニュー、ガイドの充実、ターゲットの設定、体験メニュー提供、資源の組み合わせ、めぐるアイディア、バスツアー促進策、PR 方法、担い手育成
地域資源の活かし方	自然の活用、特産品の活用、歴史・文化の活用、景観の活用、ビュースポットの整備

回答の中には、「成功の定義は難しい。儲けることだけが目的ではない。その地域の良さを活かすことが大切。その地域にふさわしいことをする。」という地旅ならではの言葉も聞かれた。

表 工夫の仕方

成功の要因	成功例	内容・理由
多様なメニュー	高知県	100 個くらいのメニューがあるなど、子どもから年配の方までいろんなニーズに対応している。
	下田市ツアー「30colors」	駅に置いてある 30 種のツアーパンフレットから、選んで案内してもらえる。当日対応が可能。
	長崎市	・細かいコース分けや生きやすいプランが用意されている。 ・町歩き観光の見本となるところ。ここも、多ニーズに対応している。
ガイドの充実	橋本市	観光ガイドとまちなかを歩くことを行っており、橋本観光ガイドの会がある。
	世界遺産の町・新宮まち歩きフェスタ	街中の魅力を生かした観光：参加料一人 500 円 ガイドと一緒にまち歩き 新宮市観光協会主催
	熊野三山曼荼羅絵解き	歴史・文化の魅力を生かした観光：比丘尼に扮したスタッフが熊野三山の魅力や意義等を紹介する。
ターゲットの設定	浅間神社	70 歳以上の訪問者は名前・住所などを記入することになっているので、情報収集にも役立っている。高齢の方を対象としているので、滞在してもらえることが多い。
	女子旅	・女性向けの店や宿を集めたガイドマップを作成し、配布している。（那智勝浦町） ・現在力を入れている（伊勢志摩）
	外国人対象ツアー	温泉・世界遺産を持つ

成功の要因	成功例	内容・理由
体験メニューの提供	熊野古道	リピーターが多いため、飽きさせない工夫を毎年考えている。
	紀美野町	カフェ、パン、スイーツ、イルミネーションなど、いろんなものを観光と融合している。教育旅行では、お菓子体験や音の遊び、こんにやく作りなど、体験を通して地域を学ぶことができる。
	由良町	ダイバーライセンスの取得：日本で数少ないダイバーライセンスが取れるところである。
	串本町	カヌーやスノーケリングが楽しめる体験型観光地である
	海南町	海南市は時代毎に物語がある町で、黒江の町並みでは当時の江戸時代がそのままの景観で、漆器づくりの街として体験を行っている。
資源の組み合わせ	有田川鉄道公園	鉄道の運転体験が出来る
	飯田市	農と観光を融合させたグリーンツーリズムを展開している。
	四万十市	最近有名になっていると思う。いろんなことと融合（日本一の高温）していて知名度のあげ方が上手であると思う。
巡るアイデア	田辺市の道普請	ボランティア・旅行融合
	浜名湖周辺の旅館	東州道中膝栗毛：旅館で使用しているタオル屋・豆腐屋に訪問する。
バスツアー促進策	堺観光コンベンション協会：バスツアーの助成金	10名以上の団体で、3時間以上堺市内を周遊すること、民間貸切りバスを使用すること、堺市内の宿泊施設または飲食施設を利用することなどを条件とし、バス1台につき宿泊の場合は5万円・日帰りの場合は3万円を限度とし助成を行い、堺の魅力を広める活動を行っている。旅行のプランの作成のほとんどは旅行会社に任せている。旅行の内容は、仁徳天皇陵をはじめとする古墳めぐりツアーや、国宝に指定されている櫻井神社、自然ミュージアム「ハーベストの丘」などである。参加者は自治会・老人会などを中心とした高齢者が多い。
PR方法	かつらぎ町	かつらぎ町のイメージキャラクターである『かきおうじ』は十六茶のCM出ており、かつらぎ町のPRに役立っていると思っておられる。
	ブランド旅館のある月岡温泉	新潟県には多くの人気温泉地があり、旅館も多く存在する。その中でも人気でおすすめだと思われるのが、月岡温泉である。理由は、2012年「プロが選ぶ日本のホテル・旅館」に全国3位に選ばれた「華鳳」という旅館があるからである。
	奈良県十津川村	全体的に売り方が上手い（アピール）
担い手育成	太地町	漁協の30～40代の方々が中心となって市民が積極的に行っている。行政中心ではなく、市民が行政に働きかける観光。

表- 地域資源の活かし方

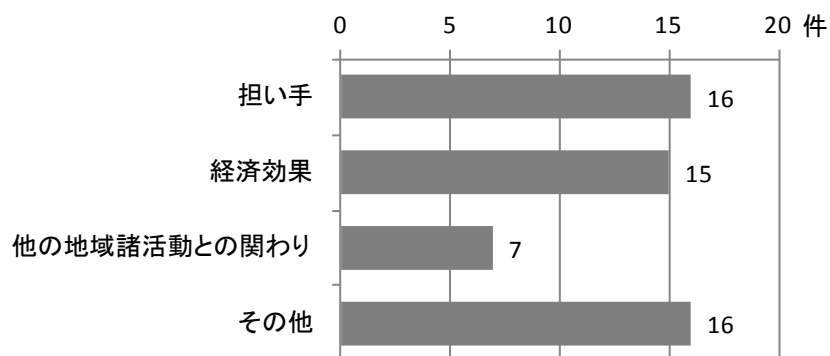
評価の視点	成功例	内容・理由
自然の活用法	熊野川舟下り	世界遺産である熊野川を下る 16 km 90 分で大人 3,900 円
	北海道の価値ある自然	世界自然遺産があるところ。(自然を価値のあるものにしている)
	スキー場	新潟にはスキー場が約 50 以上ある。越後湯沢のスキー場は関東から、赤倉のスキー場は関西からの客が多い。冬はスキー場で賑わっている地域であるが、夏は森林歩きや、海水浴場が賑わう。寺泊が海水浴場で人気である。
	白浜	温泉や景勝地といった資源に恵まれている 白浜の砂浜は日本のどこよりも砂が白い 砂浜を広くするためにオーストラリアの砂を運んできた
	松の堆肥を活かす地旅	堆肥使用で野菜果実育成
	多様な魅力をもつ佐渡島	佐渡島は新潟県からフェリー2時間 30 分ジェットfoilで 65 分で行くことができる。関東・関西から共に訪れる人が多い。自然や温泉が大変豊富。食も魅力的なものが多い。
特産品の活用法	紀ノ川市の桃源郷	桃の花が咲いている 4 月、そして実のなる 7 月でも何万人ものお客様が訪れるスポット。紀ノ川市は、果物がたくさんとれるので『あんぼ柿』を使った商品や、いちご狩りなども人気である。
	馬路村の加工品	林業や柚子が全国的にも有名であり、木のバックや柚子ポン酢などの加工品が生産販売されている。
	黒竹	特産の黒竹を使用した民芸品(箸)を製造している。
	串本町の農林水産資源の活用	海産物、特に鰹、伊勢海老、本マグロを店で食べられる
	白浜町の農林水産資源の活用	近畿大学と共同でクエの養殖を行っている 天然のクエは手に入りにくい、養殖することで一年中安い値段でクエを提供できる
	マグロの缶詰、生マグロ	マグロマップの作成。生マグロが食べられる店をリストアップした食べ歩きマップ。年に一回開催されるマグロ祭りと、年に数度行われるミニマグロ祭り
	日高町のクエ料理提供	特産のクエを生かした料理の提供
	日高川町の鮎の一夜干しを用いた 6 次産業化	体験型の旅行を提供している。民泊に泊まり、食べて知ってもらう。時間にとられない旅行を目指している。山村にある隠れたものを取り出す。
	由良町のクエ鍋の食の地旅	人は食に惹かれる。クエを食べて景色を見てもらう。「食べ物、温泉、施設」を 1 セットで提供している。
歴史・文化の活用法	式年遷宮のある三重県・島根県	式年遷宮が注目されている。
	高野山	資源が活かされている。フランスからの観光客も多い

評価の視点	成功例	内容・理由
	高野山	世界遺産登録され、全世界に魅力を発信している。1200年の歴史をもち、今でも歴史や文化を守り続けているのはすごい。
	紀伊山地の霊場と参詣道	「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に登録されたことを受け、熊野那智大社に訪れる人々が増加した。
	田辺市の南方熊楠関連	南方熊楠の出身として
	『フラワーヒルミュージアム青洲の里』	江戸時代の外科医・華岡青洲の偉業を称えるテーマパーク『フラワーヒルミュージアム青洲の里』では、健康のテーマで地元で採れた野菜を使って 50 種類ほどのメニューを用意していて人気だという。
	串本町のトルコ記念館	日本とトルコの友好関係を描いた映画が公開される
	熊野古道	世界遺産熊野古道を訪れる観光客が多い。
	太地町の町並み	1867 年の大遭難事件ののち海外に移住した人々が戻ってきて、海外の文化が町並みに取り入れられた。その町並みが観光地となっている
	広川町の浜口梧陵をめぐる旅	3/11 の震災を期に注目
	イタリア、ベローナ	文化的なもの、施設などを大事にし、利用しているところが参考になる。
	京都	特別に古くから続く歴史がある。京都は歴史のあるものとして世間にも認知されている。（そういった点で参考にしている。）
景観の活用法	くじらの博物館	400 年を超える歴史、文化があればこそその観光
	由良町の白崎海岸	日本有数の名勝地である白崎海岸がある。
	景観を活用したあらぎ島	国の重要文化的景観選定
レジャー施設の整備	ユニバーサルスタジオジャパン（大阪）	淡路島にはこのようなテーマパークがないため。（淡路島にあるテーマパークは子供向きのため。）

質問3 地旅の展開における課題

地旅の展開で課題になっていることについては、担い手、ついで経済効果が挙げられ、いずれも約75%程度となっている。また、その他として地域特有のアクセス等に関する課題も同様に75%程度となっている。

地旅の展開において課題になっていること（複数回答 N=35）



体験型観光については、「理想を持ってそれに近づいていくようにする。長いスパンで見えていく必要がある。」という回答をいただいている。

課題カテゴリー	主な課題の内容
担い手	産業の後継者不足、ボランティアの高齢化、人口流出・減少
経済効果	滞在型観光になっていない、受入環境が十分でない、工夫・努力が必要
他の地域諸活動との関わり	アクセスなど基盤整備が不十分、地域住民同士の連携
その他	移動手段の確保、地域住民の認識、ネットワーク形成、認知度・集客力向上、おもてなし

【担い手に関する課題】

■産業の後継者不足

- ・担い手不足 熊野川舟下りの船頭を60～70歳の方が担っている
- ・高齢化による後継者不足
- ・自分の代で終わりという旅館が多い。子供は町から出ていく。人口は1万から6500にまで減少した。

- ・みかんを除き後継者不足

■ボランティアの高齢化

- ・語り部の高齢化が目立つ
- ・後継者がいない。ボランティアは退職後の方が多く、若手がいらない。ボランティアではなく、正式に団体に所属し、後にリーダーとなる人がいない。
- ・ガイドの高齢化。観光はガイドさんがいたほうが楽しいので、若手が欲しい。

■人口流出・減少

- ・県外就職率が高く、若者が町から出て行ってしまう。
- ・人口減少による後継者不足。魅力のある町であると若者にアピールしてほしい。特に町外から若者が入ってきてほしい。
- ・過疎状態である。高齢者のマンパワーを用いることで解決を図っている。その際遊びに近い形で楽しく働いてもらう。
- ・紀ノ川市は高齢化が進んでいるので（25%）、やはり担い手不足は課題である。
- ・後継者不足はもちろん課題である。行政は、入りすぎても入らなさすぎてもいけない。住民に介入しすぎたら、行政主体になってしまうので、加減も必要となる。
- ・人口減少や高齢化により、後継者が不足している。また世界遺産の高野山という意識が薄れている。
- ・受け皿が小さいことが課題であるが、それはつまり人が足りないということ。そこで、人材育成をしている。若い人も年寄りも繰り返してトレーニングを受けている。（静岡県）

【経済効果に関する課題】

■滞在型観光になっていない

- ・観光客が滞在しない通過型観光地である。温泉が無い。
- ・滞在時間が短い。基本的に日帰りである。宿泊してほしいがホテルは殆どない。
- ・日帰り客が多く、神戸など周辺に宿泊客が流れているため、なかなか利益が生まれない。

■受入環境が十分でない

- ・宿泊場所が少ない。100人以上入るホテルが三軒と、民宿が三軒しか存在しない
- ・九度山町は経済効果が少ないため、お金が落ちる場所を作れないのが現状なのでお金の落ちる場所を作っていくのが課題であるという。
- ・名物となるものが無い。
- ・メジャーな資源が少ない。

■工夫・努力が必要

- ・リピーターになってもらう必要がある。そのためには気を抜くことはできない。ふと安心して気が抜けることがあるかもしれないが、初心に帰るべきである。

- ・くまモンで、何億もの経済効果と言われているが、実際は、熊本県に還元されていない。また、くまモンが他県に出ていくことが多くなってしまった。そこで、くまモンスクエアという熊本でくまモンに会える場所をつくった。
- ・経済効果は今は少ないけれども、継続することによって克服できていると思っている。
- ・どこでも生産できるものを、いかに他より秀でたものにするか。
- ・自分のやりたいこと、設けることのバランスを考えなければならない。
- ・みかん産業に依存傾向

■観光形態の変化

- ・旅行形態が団体から個人へと変遷したことで、宿泊施設が対応できなくなった。宿泊施設の価格競争の問題もある。またバブル崩壊後の不況で会社の保養所が減少した。

【他の地域諸活動との関わり】

■基盤整備が不十分

- ・交通の便が悪い。高速道路を通して欲しい。
- ・高速道路がなく、アクセスが悪い
- ・アクセスが悪い。現在観光客が訪れるためによく使われているのが JR なので、JR 各駅にポスターを貼ってもらっている。

■地域住民同士の連携

- ・日本古来の良さ、競合するのではなく他地域と連携する必要がある。
- ・町が広く、一部分の観光
- ・有田広域でイベント
- ・エリア全体で広域連携

【その他の課題】

■移動手段の確保

- ・北海道を効率的に旅行するには車が必要となる。運転が可能な人はレンタカーで道内を移動することができるが、運転はできない人は公共交通機関に頼るしかなくなる。観光向けのバスの充実が課題である。
- ・新幹線の通っている地域は観光客が来るが通っていない地域まで観光客が流れていない。
- ・島根県は東西に長い形の土地のため、各観光地が離れている。出雲大社からほかのエリアへ人の流れをどうやって作るかが課題である。
- ・淡路島は橋を渡らないといけない（＝交通費がかかる）。また、島の中では電車は走っておらず、バスもあまり充実していない。（ただし、観光客のほとんどがマイカーで来るため、今のところあまり影響はない。）
- ・公共交通機関がなく、交通の便が悪いところは便利ではないが、逆に自然が豊かな点を活かす。負としてとらえるのではなく、プラスに変える。

■地域住民の認識

- ・観光資源は豊富にあるのに、そこに住む人々が認識していないし、行動が起きてこない。住民の意識も重要。
- ・地旅の展開において大事なのは、地元の人にどれだけ取り組んでいただけるかであると思う。地元の人との協力なしではできない。
- ・地域一体となって取り組む必要があるが、全体でまとめるのは難しい。それぞれ思惑があり。

■ネットワーク形成

- ・串本町単体ではなく、和歌山全体で連携して全国に PR することができれば、更なる発展に繋がるのではないかと
- ・クエが一年中あるわけではない。近隣の地域と広域的に協力して PR すること。
- ・集客力が弱い。規模も小さい。旅行会社とコラボすることが必要である。

■認知度・集客力向上

- ・集客力に課題がある。都会から足を踏み入れてもらう方策を思案している。
- ・岡山県は全国でも認知度が低い（43 位）ため、まずはその認知度を高めることが課題である。県知事が自らミュージカル風にしてアピールしている。
- ・京都市には観光客が集まるので、日本海側に観光客が行くようにしたい。
- ・名前が似ていることもあり、アフガニスタンと似たイメージを持たれてしまうことが課題。実際は治安もよく、日本人やロシア人の観光客も増加している。日本からは成田空港から週 2 で直行便が出ている。まだまだ知名度が低いので、もっとみんなに知ってもらいたい。

■おもてなし

- ・おもてなしのレベル。外国人（東南アジア）向け。Ex)wi-fi 整備など

2-2 民間事業者への調査結果

民間事業者の調査協力者は、旅客運輸業と大手旅行社の4社であり、個々の事業内容の特性に応じた回答が得られた。

質問1 地旅について具体的に展開している内容

日本旅行やJR西日本では、普段見ることができないものや体験ができる商品をツアーとして扱っており、JR西日本では移動時にも楽しませる商品を開発している。

JR西日本では、旅行会社とタイアップした魅力の創出と知名度のあるレジャー施設を組み合わせた商品を提供しており、大手旅行会社等のタイアップによる旅行商品開発が行われていることが分かる。

フェリーさんふらわあでは、船室を活用した地域特有のひな人形を展示するなど、船の活用方法を自治体に積極的にPRしている。しかし、民泊を導入したがニーズがなく実施していないということで、商品として売れるものでなければ、民間企業での継続した取り組みは難しいことがうかがえる。

調査対象者	体験	見学	ガイド
日本旅行	舞妓さんの衣装を着て街を歩く(京都)、時代劇の衣装を着て庭園を散歩する(山口県 長府)。	工場見学、スイーツの工房を見学。	観光協会が地元の人をガイドに認定。
フェリーさんふらわあ※	民泊を実施したことがあるが、ニーズが少なく、今は実施していない。	杵築市や日田市の独自のひな人形を船室で展示し、市に興味を持ってもらう。	
関西国際空港		岸和田、堺の大仙公園の茶室、アウトレット。	
JR 西日本	普段見ることができないもの、移動も楽しめるようにする。	JTB とのタイアップで、那智の滝の夜のライトアップを見学、白浜アドベンチャーワールド。	

※その他として「学校や企業の合宿・研修。カリキュラムに入れてもらう」を上げている。

質問2 他の企業や行政・観光関連施設とタイアップ

大手の日本旅行、JR 西日本では、知名度の高いキャラクターの採用と、それらを採用している会社同士のタイアップにより、幅広い層をターゲットにした戦略的な PR を行っている。

また、フェリーさんふらわあでは、商圈の拡大を狙い、自治体や大学、遠方のバス会社などとのタイアップを行っている。

調査対象者	体験
日本旅行	宣伝方法の一つとしてキティちゃんを起用した結果、ポケットティッシュやパンフレットを受け取ってもらいやすくなったため。
フェリーさんふらわあ	商圈の拡大を狙う。大分県の自治体、静岡県バス会社、鹿児島県、宝塚市、阪南大学など。
関西国際空港	空港がある泉南市の自治体とタイアップして空港を起点とした観光を確立するため。
JR 西日本	キティちゃんのデザインの電車、旅行会社とタイアップして観光客の幅を広げる。

質問3 地旅を積極的に展開していく予定

4 社中 2 社の回答を得ており、観光協会や観光施設、幅広い企業や自治体とのタイアップが望まれている。

調査対象者	体験
日本旅行	観光協会や観光施設と協力して積極的に展開していきたい。
フェリーさんふらわあ	幅広い企業や自治体とタイアップしてマーケットの創造、商圈の拡大を狙う。
関西国際空港	
JR 西日本	

地旅博覧会 in 和歌山におけるヒアリング調査等について

目 次

1. 調査の概要	1
2. 調査の方法	2
3. 着地型観光の実態把握のための外郭団体等・行政ヒアリング調査	3
3-1 外郭団体・行政調査の目的	3
3-2 外郭団体等・行政ヒアリング項目	3
4. 着地型観光の実態把握のための民間事業者ヒアリング調査	4
4-1 調査の目的	4
4-2 民間事業者ヒアリング項目	4
5. 成果の取りまとめと活用について	5
5-1 ヒアリング調査の取りまとめ	5
5-2 御所市としての調査結果の活用	5
5-3 地域志向教育研究についての提案	5
6. バスツアー・調査に関する資料	6
6-1 行程	6
6-2 昼食	6
6-3 調査・学習時間	7
6-4 博覧会の出展者（調査対象者）	8
6-5 博覧会会場平面	9
7. 学生による御所市着地型観光への提案について	10
8. 御所市専門家モニターツアー座談会への参加のお誘い	11

1. 調査の概要

本調査は、産業観光についての調査研究を進める奈良県立大学地域創造学部小松原ゼミと御所市（活性化プロジェクト）が行う、地域資源を活用した観光の実態を把握する共同調査である。

「地旅博覧会 in 和歌山」は、全国の着地型観光関係者が集まることから、地域資源を活用した観光の情報を生で聞ける有効な機会といえる。

このため、「観光立市“御所”を目指す会バスツアー」（協力：株式会社サンキュー観光）に参加して、地旅博覧会の出展者を対象にしたヒアリング調査を実施する。

地旅博覧会に出展する団体は現段階（1月20日現在）で公表されているものは、32団体（外郭団体等5団体、行政16団体、民間12団体）であり、出展者の特性に合わせて「外郭団体等・行政」と「民間事業者」の2つの調査項目を設定しヒアリングを実施する。

2. 調査の方法

- ①調査員（小松原ゼミの学生）は、調査主体と目的を説明したのちにヒアリング協力を依頼する。了解いただいた方にヒアリング項目を見せながら各質問を投げかけ、選択肢を参考に話を引き出し、聞き取ったことを記録していく（併せて御所市のPRを行う）。
- ②1ブースに対し、2人1組で調査（6班、調査員奇数のため1班のみ3人）を実施。
- ③「外郭団体等・行政」調査隊は4班（A班～D班）、「民間事業者」調査隊は2班（E班～F班）が実施する。（当日出展者数が増加していた場合は班の数を調整）
- ④結果については、各自メモ書きを指定のフォーマットに入力して、今井まで提出する。（締切2月19日（水））

【調査依頼者への調査目的の伝え方】

奈良県立大学と御所市が共同で実施する地域資源を活用した観光についての実態調査です。この調査結果は、奈良県立大学の「地域志向教育研究」の中で活用するとともに、御所市が今年度取り組んでいる「御所市活性化プロジェクト」の「着地型観光勉強会」で活用します。

【調査員班分け】

氏 名	学年	班	対象（行政 or 民間）	具体的な調査対象※
端野良介	2年			
大下さき	2年			
谷内義和	2年			
田中りか	3年			
井上紗希	3年			
大日向眞季	3年			
石川美緒	3年			
岡里奈	4年			
坂野伶花	4年			
松井明子	4年			
真柴珠希	4年			
中澤かずこ	4年			

※調査対象は当日までに出展者リストの確定版が発表された時点でゼミで決定

3. 着地型観光の実態把握のための外郭団体等・行政ヒアリング調査

3-1 外郭団体・行政調査の目的

地域全体の観光について把握している立場の方から見た、当該地区における着地型観光の実態を把握する。

3-2 外郭団体等・行政ヒアリング項目

質問 1. 地旅として取り組んでいる分野をすべて教えてください。

1. 農林水産業等に係る資源を生かした観光
2. 製造業・建設業等に係る資源を生かした観光
3. 自然を生かした観光
4. 街中の魅力を生かした観光
5. 歴史・文化の魅力を活かした観光
6. 上記以外で温泉など地域特有の資源を生かした観光
7. その他（具体的に _____）

質問 2. 成功していると思う地旅を 3 つまで教えてください。また成功の要因と思うことを教えてください。

- 回答 1. （具体的に _____）
- 回答 2. （具体的に _____）
- 回答 3. （具体的に _____）

質問 3. 地旅の展開において課題になっていることは何ですか。

1. 経済効果（具体的に _____）
2. 担い手（具体的に _____）
3. 他の地域諸活動との関わり（具体的に _____）
4. その他（具体的に _____）

4. 着地型観光の実態把握のための民間事業者ヒアリング調査

4-1 調査の目的

事業者の着地型観光に関する認識や期待、今後の取り組み意向について、当該地区における実態を把握する。

4-2 民間事業者ヒアリング項目

質問 1. 地旅について具体的に展開している内容を教えてください。

1. 体験を受け入れている。(具体的に)
2. 見学を受け入れている。(具体的に)
3. ガイドをしている。(具体的に)
4. その他(具体的に)
5. 地旅として意識して特に実施していることはない。

質問 2. 地旅に関するサービスを提供している(今後していく)中で、他の企業や行政・観光関連施設とのタイアップをしていますか(予定していますか)。

1. タイアップしている(していく予定である)。
(どのような部分をタイアップしているか具体的に、)
2. タイアップしていない(していく予定はない)。
(タイアップをしない理由を具体的に、)

質問 3. 今後、地旅は、積極的に展開していく予定ですか。

1. 積極的に展開していく予定である。
2. 取り組むが現状維持の予定である。(その理由は、)
3. 数年試してみても見極める予定である。(その理由は、)
4. 今も特に取り組んでいないし、今後も展開していく予定はない。(その理由は、)

5. 成果の取りまとめと活用について

5-1 ヒアリング調査の取りまとめ

調査項目に沿って調査結果を集計するとともに、ヒアリングした個々の情報から傾向を分析する。（調査結果は、奈良県立大学と共同で取りまとめる。）

5-2 御所市としての調査結果の活用

各地の着地型観光の実態を分析し、着地型観光を展開する中でのポイントなどを抽出して、御所市活性化プロジェクト「着地型観光勉強会」の検討資料とするとともに、有識者による専門家モニターツアー及び座談会の資料として活用する。

また、本調査に参加した学生からは、調査の結果を踏まえて御所市の着地型観光に対する提案を提出していただく。さらに、希望する学生については、のちに実施予定の御所市ツアーや勉強会へ参加していただく。

5-3 奈良県立大学地域志向教育研究についての提案

本調査は、地域志向教育研究の手法②「学生と一緒に近畿圏の産業観光ツアーの状況について旅行会社を訪ねて調査する。」の一部に該当すると考えられる。

調査項目のうち「外郭団体等・行政」版の質問 1 や「民間事業者」版の質問 1 から、経済地理学や地域構造論の講義で学んだことが、実際にどのように観光として活用されているかを直接聞けることから、地域志向教育研究として着目している産業観光の学習に有効だと考えられる。

6. バスツアー・調査に関する資料

6-1 行程

【集合】：近鉄奈良駅（春日ホテル前） 7:50

端野良介、谷内義和、田中りか、松井明子、真柴珠希、小松教授

JR 奈良駅（西口・ホテル日航前） 8:00

大下さき、井上紗希、岡里奈、坂野伶花

現地（和歌山ビッグホエール）正面玄関 10:45

大日向眞季、石川美緒、中澤かずこ、（今井まゆみ、依藤智子、江崎陽子）

御 行 程		泊 日	御 一 行 名	
各地=====葛城IC=<南阪名>==美原JCT====<阪和道>=====				
7:50～8:50				
岸和田SA(休憩)=====和歌山IC==和歌山ビッグホエール				
9:50	10:05		10:45	
(国内観光活性化フォーラム会場)-----和歌山ビッグウェーブ(地旅				
博覧会会場)=====和歌山IC=<阪和道>=====岸和田SA(休憩)=====美原JCT				
16:00			16:40	16:55
====<南阪名>=====葛城IC=====各地				
17:40～18:40頃				
<乗車場所・時間>				
近鉄奈良駅(春日ホテル前)			7 時 50 分	
J R 奈良駅(西口・ホテル日航前)			8 時 00 分	
御所・アザレアホール前			8 時 50 分	

6-2 昼食

バスツアーで和歌山産お弁当（1000 円）を注文しています。

（代金は、株式会社 総合計画機構がお支払いします。）

6-3 調査・学習時間

■10:45 に到着後、会場確認をして、調査を開始し 14:00 まで実施する。

(途中 12:00 頃に昼食、博覧会全体の見学は調査の状況をみながら随時行う。)

■14:00 から 16:00 は、パネルディスカッションで学習。

2013 年 12 月 3 日現在

シンポジウム (ビックウェーブ)		地旅博覧会 (ビックホエール)
	10:00	オープニングイベント (5 分) 鉄砲隊 (雑賀・根来・九度山) による火縄銃演武
	10:05	オープニングセレモニー (30 分) 主催者挨拶・来賓祝辞
調査及び昼食時間	10:45	和歌山へようこそ！歓迎イベント (65 分) ①和太鼓演奏 ②熊野古道 藤原定家の熊野詣 (和太鼓演奏の中) -1 平安衣装の男女と後鳥羽院・藤原定家一行の行列 (30 名程) が会場をうねり、舞台上へ 藤白王子の奉納 (藤白の獅子舞) 定家が熊野詣時の歌を詠む ③熊野古道 藤原定家の熊野詣 -2 舞台は中辺路から本宮大社…滝尻王子と発心門王子 後鳥羽院、定家が熊野詣での歌を詠む ④入れ替わるように時代は江戸期へ和歌祭りの時代 行列が会場をうねる ⑤よさこい 入れ替わるように、よさこいの集団が舞台で踊る
観客誘導と開場案内等	11:30	
和歌山県観光紹介ビデオ (10 分)	11:40	
開会式 (30 分) 開会挨拶 (二階俊博会長)・歓迎挨拶 (仁坂吉伸知事) 歓迎挨拶 (大橋健一市長)・来賓挨拶 (久保成人長官)	12:00	交流は時代の扉をひらく (60 分) 日中韓越交流イベント ①中国…中国琵琶の演奏 涂善祥 (とぜんしょう) 氏の中国楽曲 ②韓国…プンムル (農樂) 等の演舞と演奏 ※ 韓国領事館と折衝中 ③越南…ベトナムの人気歌手フォンファンさんの歌 ④日本…和歌山の歌 (宮本静さん) 現在の和歌山の歌
登壇者紹介 (10 分) 二階会長・仁坂知事・大橋市長 ・久保長官・外国からの来賓	12:40	
記念講演 (60 分) 芥川賞作家 辻原 登 氏	12:50	
	13:15	全国芸能 (65 分) ①タピカレガールズ 国内の新しい観光地づくりの取組を応援する「日本タピカレ」通称「タピ カレ」。その取組を全力で応援するリアルな PR ユニットによる歌とダンス ②奈美の農唄 (山根さおり)
パネルディスカッション (120 分) 「観光振興と未来の創造」 ■パネリスト■ 二階俊博 / 仁坂吉伸 / 久保成人 / 菊間潤吾 張 西龍 / 朴 三求 / 芹川洋一 / 田中理恵 ■コーディネーター■ 門 博文	14:00	③全国ハイヤ節まつり 井才船と北前船によって全国に広まったハイヤ節を代表的な団体が競演 生演ハイヤ節 佐渡おけさ カジ
	14:30	おまかせご当地キャラクターショー (80 分) ①全国のキャラクター ②和歌山県内のキャラクター大集合
地旅大賞表彰 (20 分) 学生がつくる着地型旅行プラン表彰	16:00	宝塚歌劇団 (OG) のショー (40 分) 歌と踊りとトークショー 5 名

滞在時間

6-4 博覧会の出展者（調査対象者）

表一 地旅博覧会 in 和歌山（2月11日開催）出展予定（1月20日現在）

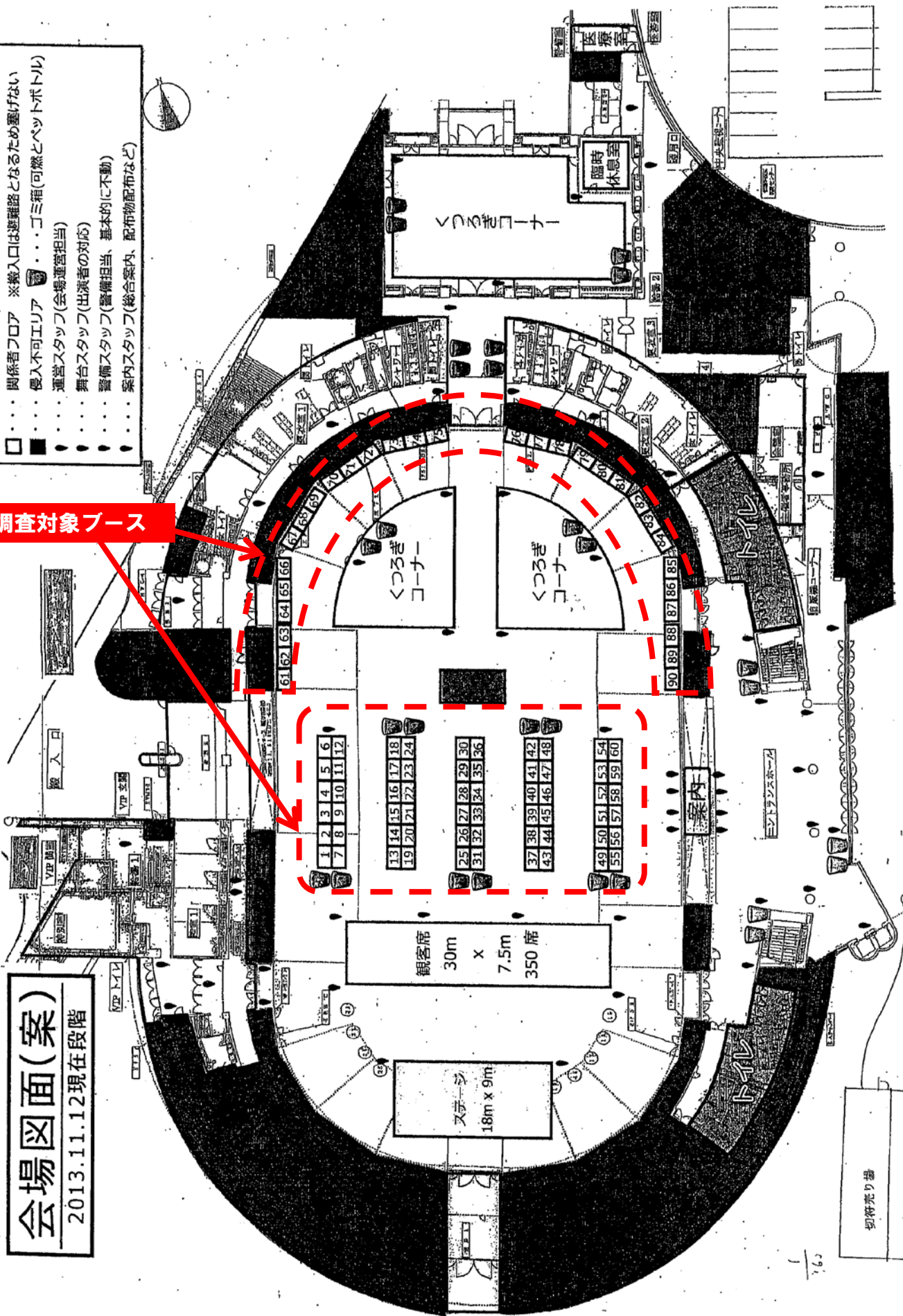
属性		出展企画	名称	
外郭等	1	観光 PR	滋賀県長浜市(北びわこふるさと観光公社)	
	2	観光 PR	堺観光コンベンション協会	
	3		一般社団法人淡路島観光協会	
	4		公益社団法人鳥取県観光連盟	
	5		天草四郎観光協会	
行政	1	観光 PR	群馬県	
	2	観光 PR	三重県観光キャンペーン推進協議会(三重県)	
	3	観光 PR	佐賀県唐津市(ご当地キャラクター 唐ワンくん)	
	4		北海道	
	5		福島県	
	6		ふじのくにしずおか観光PRコーナー(静岡県)	
	7		新潟県	
	8		京都府・京都府観光連盟	
	9		安らぎの紀伊半島へ(紀伊半島の観光振興と社会資本整備に関する連絡会議)	
	10		大阪観光局	
	11		明石市・姫路市・赤穂市・ひょうごツーリズム協会	
	12		島根県	
	13		岡山県	
	14		熊本県	
	15		本物。鹿児島県(観光かごしま大キャンペーン推進協議会)	
	16		日本一のおんせん県おおいた	
民間	1	物販	ハレルヤスイーツキッチン(徳島県)	
	2		新関西国際空港	
	3		協同組合広島県旅行業協会	
	4		魅旅(鹿児島県旅行業協同組合)	
	5		日本旅行	
	6		京菓匠ことほぎ堂(京都府)	
	7		株式会社アゼスタ	
	8		株式会社ブロードリーフ	
	9		和歌山水了軒:和歌山おもてなし弁当(和歌山県)	
	10		可吉:紀州さば浜ずし(和歌山県)	
	11		池の平ホテルグループ	
	12		フェリーさんふらわあ	

会場図面(案)

2013.11.12現在段階

- ... ブース(縦1.98m x 横2.97m x 高2.4m)
- ... 関係者フロア ※搬入口は避難路となるため塞がない
- ... 侵入不可エリア
- ... 通営スタッフ(会場運営担当)
- ... 舞台スタッフ(出演者の対応)
- ... 警備スタッフ(警備担当、基本的に不動)
- ... 案内スタッフ(総合案内、配布物配布など)

調査対象ブース



7. 学生による御所市着地型観光への提案について

地旅博覧会での学習を踏まえて、御所市の土地の持つ資源、産業資源、人々の活動を活かした着地型観光を提案してください。いただいた提案については、3月末に取りまとめる「御所市における着地型観光のあり方の道しるべ」に掲載させていただく場合があります。

(締切：2月19日(水) 今井まで、メール或いはFAXください。)

奈良県立大学地域創造学部小松原ゼミ学生による御所市着地型観光の提案フォーマット

旅行の対象者			
想定時期	月～ 月頃	ツアー期間	泊 日
ツアー内容			
1. ツアータイトル			
2. 企画立案の背景・理由			
3. ポイント①			
3. ポイント②			
3 ポイント③			
行程表 (日帰り ok)	【1 日目】 【2 日目】		
提案者氏名			

※フォーマットは各自に配布します。

8. 御所市専門家モニターツアー座談会への参加のお誘い

御所市活性化プロジェクトでは、専門家によるモニターツアーを開催し、御所市における着地型観光の課題や可能性についてご意見をいただく予定です。

現在、参加を依頼している専門家の方々、プログラムは以下の通りです。

学生のみなさんからいただいた着地型観光の提案は、専門家の方々にも見ていただく予定です。

ぜひ、この機会にこのモニターツアーに参加してみませんか。

参加者は無料です（ツアーで提供する昼食も無料です。）。また、現地までの交通費も実費を支給します。

【開催日】 2月22日（土）～3月16日（日）で調整中

【依頼中の専門家】

コンサルタント	糸谷正俊氏（（株）総合計画機構相談役、社叢学会理事）
旅行業関係者	持井恵美子氏（奈良観光バス株式会社）
旅行業関係記者	やまとびと 堀井氏
旅行業関係記者	トラベルニュース記者
着地型観光モニターツアー実践者	地域復興まちづくり・建築設計 eN（新宮市熊野川町周辺のまちづくり・地域活性：モニターツアーを企画・実施）メンバー1名
地域まちづくりの担い手	伊那佐郵人 代表 松田麻由子氏
学識経験者	奈良県立大学 小松原教授

※現在、依頼・調整中

【プログラム】

集合	10：00	近鉄御所駅
ごせまち散策	10：00～11：00	ごせまち
東側巡り	11：00～12：00	水平社博物館⇒三光丸クスリ資料館⇒国見山
昼食	12：00～13：00	かもきみの湯：御所御膳（オリジナル商品）
西側巡り	13：00～14：30	高鴨神社⇒高天彦神社⇒名柄（散策）
座談会	14：30～16：00	（会場調整中）
解散	16：30頃	近鉄御所駅